

ぼくじょう なかま はなし
牧場の仲間たちのお話



はじめに

かみさま つく どうぶつ じつわしゅう
神様が造られた動物たちの実話集へ、ようこそ。
どうぶつ おどろくような いちめん たの よ
動物たちのおどろくような一面が楽しく読めますよ。

はなし こども ぼくじょう
これらのお話は、わたしが子供だったころ牧場で
く 暮らししていた とき かぞく どうぶつ
動物たちと
けいけん
経験したことがもとになっています。

かみさま つく どうぶつ とも
神様が造られた素晴らしい動物たちと共に
ちきゅうじょう く かみさま くだ よろこ
地球上で暮らすのは、神様が下さった喜びの
ひと
一つでもあります！

クリスティ・S・リンチ

ぼくじょう なかま はなし
牧場の 仲間たちの お話

もうふ
ネコ毛布



いぬ 犬と ^{なが}ネコは ^{わる}仲が ^{おも}悪いと ^{ひと}思っている ^{ひと}人が
^{おおせい}大勢 ^{かなら}いますが、^{かぎ}必ずしも ^{かぎ}そうとは ^{かぎ}限りません。
^{いぬ}犬と ^{さいこう}ネコは、^{ながよ}最高の ^{ながよ}仲良しに ^{ながよ}なることも ^{ながよ}あるのです。
^{ちち}わたしの ^{ちち}父が ^か飼っていた ^かバセットハウンドの
^{ぼくじょう}シドと ^{ぼくじょう}牧場の ^{ぼくじょう}ネコたちが、^{ぼくじょう}そうでした。
^{おやこ}シドは、^{おやこ}ネコの ^{おやこ}親子と ^{ながよ}仲良しでした。



にっちゅう 日中、シドが おもしろ 面白がって ネコたちを
お 追いかけることが ありました。ネコたちは、
シドが ただ あそ 遊びたがっているだけだと
知っているの、いっしょになって あそ 遊びます。
さいご 最後には、ネコたちは き 木の のぼ 登ります。
シドは き 木の した 下に 立って ネコたちを み あ 見上げ、
たの 楽しい お 追いかけることが できたことで
まんぞく 満足そうに た さ 立ち去ります。

シドは、そと いぬこや 外の 犬小屋で ゆき ねむりました。雪が
ふ 降って さむ とき 寒い 時などは、わたしの はは いぬこや 母が 犬小屋の
なが いる 中に もうひ 古い 毛布などを いぬこや しき、犬小屋の いりぐち 入口にも
もうひ 毛布を なが かけて、なが 中が 冷えないように しました。
でも シドは、じぶん 自分でも、あたた もっと 暖かく いら られる
ほうほう 方法 み を 見つけました。ネコたちを いぬこや 犬小屋の なが 中に
まね 招き入れ、じぶん 自分の うえ 上に の 乗って ね させたのです。
シド専用 せんよう の もうひ ネコ毛布という わけですね。

あさ 朝に なって ちち 父が ほくじょう 牧場の さつよう 雑用を しに ぞと 外に 出ると、シドは いつも うれしそうに いぬこや 犬小屋から 出てきます。けれども 冬の間、犬小屋から はず 出て来るのは、いぬ 犬では なく、1びきの ネコ、つづ 続いて もう1びきの ネコ、そして さいご 最後の ネコなのです。3びきの ネコが みんな いぬこや 犬小屋の 外に 出ると、さいご 最後に シドが 出てきて のびを します。ひとばんじゅう あたたか 暖かい ネコ毛布に くるまれて ぐっすり と ねむったので、シドは 満足 そうです。

シド

シドと ネコたちは、いっしょに いれば、おたがい 暖まると 知っていたのです。仲間って、そのための ものでは ないでしょうか。何かを いっしょに したり、助け合ったりするためにね。

「友を 持つ 者は、自分自身も 友らしく ふるまわねば ならない。」(箴言 18:24を わかりやすく 言いかえたもの)